

V2H-充放電器 SDシリーズ 停電時操作方法 ビーワイディージャパン [充放電コネクタ]

当資料は、自動で自立運転が開始しなかった場合、手動で自立運転を開始するための操作方法を説明しています。

以下3条件のいずれかが該当する場合、自動で自立運転が開始されません。

- ・「自立運転切替設定」が無効
- ・ 停電した時点で充放電コネクタがコネクタロックされていない
- ・ V2H-充放電器の電源が入ってから、30分以上継続して接続されていない

※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書を参照願います。

I. 給電開始の手順

CHECK

- ・ 車両の「**低圧スイッチ**」が**ON**になっていること
- ・ **ハンドブレーキ**が**ON**であること
- ・ **車両起動用スイッチ**が**OFF**（**パワーOFF**）であること

※低圧スイッチや起動用スイッチなどの位置・名称等は、車種により異なります。詳細は車両の取扱説明書を参照願います。

- 1 車両背面の「急速充電口」に、「充放電コネクタ」をしっかりと挿し込む。

【参考図】

正常な差込みの場合は「カチッ」と音がします。



※急速充電口の場所や名称、開閉方法等は車両により異なります。詳細は車両の取扱説明書を参照願います。

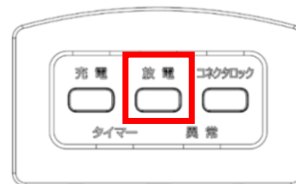
※停電発生時にプラグホルダのLEDが赤く光りますが、停電検知の表示であり、数秒で消えます。また、アプリ、リモコンの「運転履歴」にエラーコード51、52などが残りますが問題ありません。

※右上へ

- 2 自立運転を開始する。

【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・ プラグホルダの各LEDが点滅から消灯するまでお待ちください。
- ・ 消灯後、「**放電**」ボタンを押します。
- ・ 自立運転を開始すると、「放電」LEDが点灯します。



【室内リモコンの場合】

- ・ 「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・ 「操作メニュー」で「**放電開始**」をタッチします。
- ・ 放電を開始すると、本体状態が「自立運転中」になります。



- 3 準備が完了し**給電可能**となる。
使用する電気設備の電源を入れてください。

II. 給電停止の手順（停電中に運転停止する場合）

【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・ 「**放電**」ボタンを押します。
- ・ 「放電」LED が点滅します。
- ・ 自立運転が停止すると、「放電」LED が消灯します。

【室内リモコンの場合】

- ・ 「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・ 「操作メニュー」で「**停止**」をタッチします。

【スマホアプリの場合】

- ・ 「**コネクタロック解除**」をタッチすると運転が停止し、コネクタロックが解除されます。

※「放電停止充電率」または車両が定めた充電率に達したときは、放電を自動で停止します。

III. 自立運転中、過負荷によりV2Hが停止した場合の復旧手順

- ・ V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、負荷を定格電力以下とすることで自動的に自立運転が復旧します。
- ・ ただし、停止から数分（2～3分程度が目安）経過すると自動での復帰は出来なくなります。その場合下記手順にて復旧準備を実施してください。

1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチをOFFにする。

2 車両の「急速充電口」から「充放電コネクタ」を取り外し、再度挿し込む。

3 1.給電開始の手順 ②～を再度行う。

4 **自立運転を再開**する。
※過負荷に注意し、電気製品のスイッチを入れてください。

IV. 停電終了（復電）時

- ・ 停電が復旧すると自立運転は動作を停止して、宅内には商用電源から電力供給されます。
- ・ 停電が復旧してから最大 5 分間は、「異常」以外の LED が点滅しV2H- 充放電器を操作することができません。LED が消灯したら、V2H- 充放電器を操作できます。

注意事項

- ・ 電池残量により、充電電力／放電電力を抑制する場合があります。